YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

FOLDER NO.
2-18

II. 34

PLEASE RETAIN
ORIGINAL ORDER

日本人と此政移民の出発点
を比較するのは無理である
政府移民は老若一家連れで
力を充実しようと移住し
て来るのに子供や老人が多
い所へ日本人は男女共に無
気盛りが多いのである。

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS
FOLDER NO. 2-18

ビーシーでの
東洋人の移民の「濫觴」は
カナダ、太平洋鉄道の工事完成
の為めに支那移民を招致
し、ビーシーは此墾地のキヤリブー
（金鉱発見当時（一八五七の出来事）
支那人より来た移民もあれ
鉄道は完成し金山は掘り
つくされたから、此の支那人達
が白人種と同じ職場や農
業に働らく、つまり一般労働
市場に出るやうに成つてから
「排斥協会」が生れ
からの四十余年の東洋人

移民の一史は「人種排斥の歴史」と成つた、

皮肉なるかな加州は此の一面に於ては東洋人排斥を強ける一方、毎年百数十万弗を費消して英国及び欧洲各国移民の募集運動をやつて居るのである、即ち吾々東洋人移民の心構へとは常生活が加州の労働発展に伴はない、或は之れを阻害する何等かの理由があるからである、

「郷に入つて郷に従へ」は嘗て
大勢の為めに、東洋人の問題は
ヒトラーの政治的癌なりと迄
言はれた、
今次大戦を機会に此の一
レー州では印度人の生活の基礎
を根底から覆へし、沿岸
から内陸地へ抑留し四五
十年の営々の基礎を根底か
ら奪ひ去らしめた
のである。
ドイツ・イタリー人との取
扱ひの相違を見よ

カナダへの日本人の最初の
移民は一九〇四年からで
一九〇八年暮には約五千人
位ひに成つて居た。
支那人は日本人より約
二十年位ひ早く（鉄道や金山に）移住
して居るのであるが、ハウエー
判事の此の一言、政治一決に依る
と一八八〇年頃キヤリアカー全
部の代議士選挙に投票権
を与へられた支那人、其は全部
の為めに悪政治家に利用され
ボスの言ふなりに結束投票

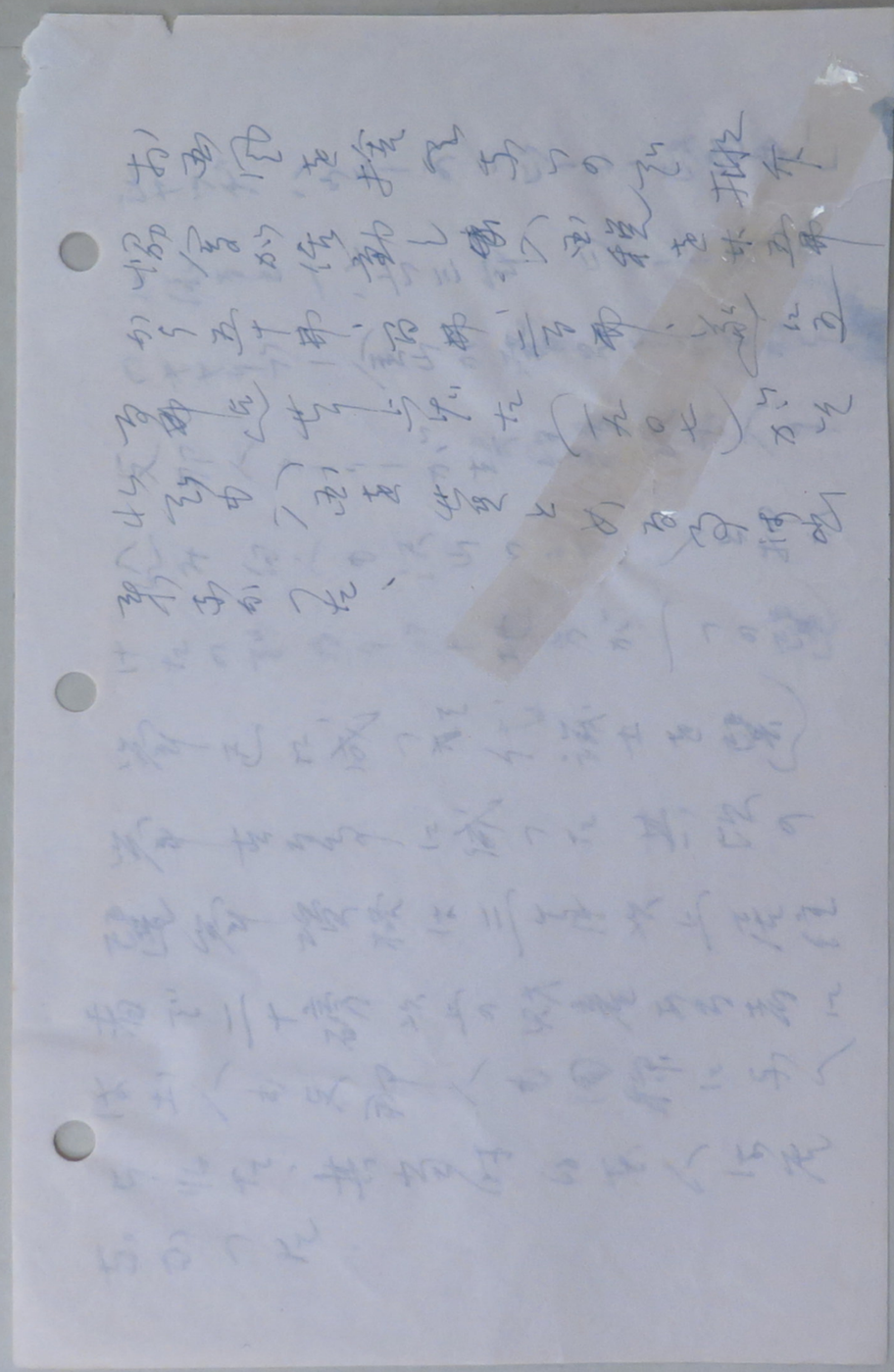
YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

FOLDER NO. 2-18

をも政界に問題を起し
一八九〇年頃の選挙で投票権
をとられてしまったのである。
此れが排斥法の第一歩なので
あった。但し支那人、土人だけであった。
其後日本人も数が増加する
に随って支那人、土人の中に編
入される名誉を受けた訳である。
(金山から、鉱山から農園)
労働市場に出て来る支那人
はストライキのスキャブをする安
賃金で働らく、何處へ行っても
も天秤棒と鍋十釜は
放さない。何年住んでも

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

FOLDER NO.
2-18



YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

ジャッデ ハウエーの「ロッキー政治史」
に依ると一八六三年 ロッキー山
のキャリフォー金山が発見されたから
支那人クーリーが契約移民として入り
込み白人も沢山ウヨウヨと押か
けたのでカリフォー地方が一つの選
挙区に成って代議士を選
挙出すように成った其次の
選挙資格は三年以上居住
者で二十磅以上の財産ある者に
は五人も支那人も同様に与へ
られた、甚だ公正な方法
であった。

FOLDER NO. 2-18

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

( ) Y. YAMAGA

一九五三年八月十六日

三又草

日本語学校について

戦争前沿岸の日本人集団地には、語学校が大小四十九校あり、教師男女教師九十五名、生徒の総数が四千三十九人（一九四〇年調）となっており、それが為めに費やした経費一ヶ年に五万七千六百六十一弗。これは各語学校の合計額の合計であるが、其の他に語学校中心で行はれた、種々の行事、それに右の

10 X 20

FOLDER NO. 2-18

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

( ) Y. YAMAGA

四十九校を統一する為めに出来てゐた所の
ビーシー教育会と共保用費、共山役員諸氏が
語学校関係の集会の為めに捧ぐられた財源も
延べにしたら驚くべき数字に成つたに違ひ
い。戦後日系人の散住政策に依つて一應日
本語学校は自然消滅して居たが、各地の日系の集団
には お寺と語学校が主義はれ、戦争と共に
一挙に焼
中の地上の大火の為めに焼け失せて何も残らず
くなつたやうに見えたのが、日系人の生活
がやゝ安定し、春のやうな温い自由の慈雨が

10 X 20

FOLDER NO. 2-18

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

焼跡の黒土に埋かれると、地下に生き残って居た昔の古根が、芽を出し伸び始めた。昔日の姿を彷彿せしめたやうである、手探り方法から出発した日本語学校が再び

筆者は語学教育が、そんな風で欠ぐべからざる必要なものであり、前述のやうな大きな犠牲を払ってでも、やらなければならない價値があるものであるかに大きな疑問を持つものである。それに前述の語学校の内容が帝国主義的色彩が濃かったこと、其統制がとれて

10 X 20

FOLDER NO. 2-18

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

居た点と云へばカナダ丈は由各地に、十千万数の組織として陰にドイツ的動が、在外官憲を通じて援助と統一とをなしたと伝へられるドイツ語学校と同じやうな存在と看られ、恐れられて居た事は事実である。戦時中に二世が移動令に反抗し、日の丸の旗をカノの先頭に立て移民館に押寄せた事件も他英領植民地に於ては精神を各所に発揮したのであるのやうに思ひ出される、然るに、そんな動に対し語学校に直接責任があるとは決して言へないが、ドイツ語

10 X 20

FOLDER NO. 2-18

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

( ) Y. YAMAGA

学校でやってたと信じられてたナチスの
エーゲルト運動と同じ帝国主義的なものが日
本語学校にも存在してみたのかと疑はれ
て居たのだけは多分事実である。こんな思想的方
面は今日の語学校には全然ないと思はれるが
「英語の判らぬ父母と別れて、親子の情を、
細やかな日本語で通信出来るやうに」毎年四
、五万弗を費し、公立学校の放課後、子供に
は二重負担と知りつゝ日本語学校へ通学せ
た其効果が、どれだけ現在残って居るか、日常

10 X 20

FOLDER NO. 2-18

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

( ) Y. YAMAGA

10 × 20

生活に表はれて居るかを読者に考へてみたいと思ひたいのである。今は成長し結婚した二世が果して幼時父母が愛犬の犧牲を払ひ朗読の巻十二、三まで習得させたはが読の義割が現在活用されて居るか、不幸にも筆者自身の体験では、いろはは四十八文字が、からうじて残っておるに過ぎない、それもママに書く一通の手紙をも仮名で書くにも二世の為めには長時間を要し、余程苦痛を感じ(努力を要す)(事実)居りにも見える。

FOLDER NO. 2-18

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

あれだけの犠牲を払ひ、これだけの効果しか無いものとすれば、家庭で父母の喧嘩に敗れたる筈ではなかつたかと思はれる。あれだけの金と時間を費し、何も経済や政治の問題に関係せずに、英父母が家庭で僅かの明を作り出されずに、英父母が家庭で僅かの明を作つて教へられた筈ではなかつたと思はれる、現在では已に二世よりも三世の修学時代に成つて居て、英が人の父母は英語が自由であるから、尚更である。何等大学生或は高校生で将来日本の対英の生活を志し、課所は加の文

10 X 20

FOLDER NO. 2-18

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

( ) Y. YAMAGA

紀交通の為めには如何修繕を希望する者の為めには、出来る限りの援助と設備をしてやらねばならぬは勿論である。

10 × 20

FOLDER NO. 2-18